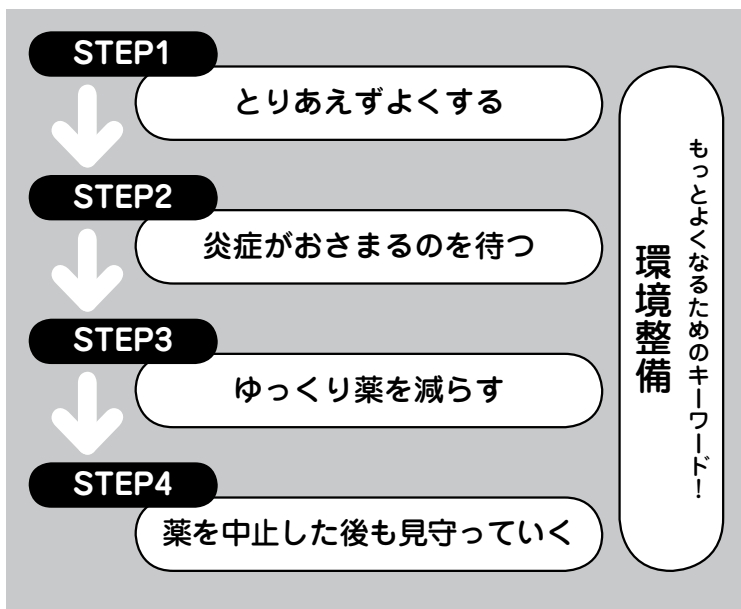



小児ぜんそくの 治療の流れ

●ぜんそく治療の案内板



いつでもこの案内板をイメージすると、今の自分の位置がわかるので理解しながら治療ができて安心ですよ。






ぜんそくの治療方針

ぜんそくの治療方針をシンプルにまとめると、

1. とりあえずよくする
2. 炎症がおさまるのを待つ
3. ゆっくりと薬を減らす
4. 薬を中止した後も見守っていく

の4段階に分けて考えるとわかりやすいと思います。

この1～4が、数日ですむようなゼーゼーもあれば、年単位で考えなくてはならない、長期にわたる治療もありますし、1～4を繰り返していかなくてはならないこともあります。基本的なパターンは同じです。



同時に環境整備も

そして忘れてはならないのが、環境整備。

多くのぜんそく児（70～80%）にとって、ダニのアレルギーが大きな誘因になります。もちろん、ダニのアレルギーがあまり関係ないタイプのぜんそくもありますが、アレルギーが関与したぜんそくのお子さんを治療していくのに、ダニの少ない環境を作ることに気を配らないで治療していくとすれば、薬ばかり増え、ゴールは遠のくばかり。

ですから、ぜんそくの治療のポイントは、薬の使い方と、環境整備です。



★ナースのひとこと この段階であまり悩まないで

このステップ1～4は、こんなに順番通りにスムーズに進むことのほうが少ないくらいです。ステップの切れ目がはっきりわかるわけではありませんし、ステップごとに薬や治療方針が急に変わるわけではありませんよ。症状がおさまったときが治療の終わりではないということをイメージしましょう。